

理学療法の医学的基礎 投稿規定

【目的】

理学療法の医学的基礎研究会の機関誌として、学術的情報公開の場を提供することを目的とする。

【投稿資格】

投稿者(共著者を含む)のうち、少なくとも1名が本研究会の会員であること。

【投稿手続】

投稿者は原稿1部とコピー3部を学術誌編集委員会あてに提出する。なお、原稿受付年月日は原稿が学術誌編集委員会に到着した日とし、受理年月日は原稿の審査が終了し、掲載可能となった日とする。

【原稿】

○原稿はA4用紙にワープロで横書きし、原則として、邦文の場合400字詰原稿用紙50枚(本文、文献、図表説明)以内、図表は10枚以内とする。

○邦文の場合には常用漢字、ひらがな、新かなづかいを用いる。外国人、生物学名などは原語を用いる。英数文字や記号は半角とし、原則として特殊文字は使用しない。ただし、特殊文字で表記せざるをえないものについては、表記文字とその表記場所を記載したリスト(1部)を添付し、提出する原稿にもその表記場所を朱字でマークする。

○表紙には論文タイトル、著者氏名(著者の資格を示すもの、例えばPhD、PTなど)、所属および投稿責任者(correspondence author)の連絡先住所、電話番号、FAX番号、E-mail address、原稿の枚数、図表の枚数、5つ以内のキーワードを記入する。

○邦文の場合には英文で表題、著者名、所属、要旨(200語前後)と5つ以内のキーワードをつける。

○原則として緒言、対象(実験材料)、方法、結果、考察、文献、図表説明の順とする。

○図表説明には番号、タイトルおよび簡潔な説明を加える。

○章、節、項の細分には見出しや小見出しを太文字(ボールド)でつける。

【図、表】

○サイズは横が80mmまたは160mmとし、縦は図表の説明を含めて250mm以内とし、雑誌掲載予定のサイズで原本およびそのコピーを提出する。

○図表の裏に筆頭著者の氏名と図表番号を記入する。

【文献】

○引用順に通し番号をつけ、その番号を本文中の引用箇所の右肩上に右片カッコにしてつける(すべて半

角文字を用いる)。

例) …ことが明らかにされている^{13, 14)}。一方、Saruhashi et al.¹⁸⁾は、今井ら⁹⁾の意見に対して…。

○本文の最後に「文献」として引用順に列挙する。

○著者は全て連記する。

○記載方法は以下の例に従う。

(雑誌の場合)

1) Yoshimura A, Fujitsuka C, Kawakami K, Ozawa N, Ojala H, Fujitsuka N: Novel myosin isoform in nuclear chain fibers of rat muscle spindles produced in response to endurance swimming. *J Appl Psychol* 73: 1925-1931, 1992

2) 曾我部正博, 成瀬恵治, 曾我浩之: 膜伸展によって活性化されるイオンチャンネル. *心臓* 24: 333-343, 1992

(本の章、節、項が参考の場合)

3) King A, Cavanaugh JM: Neurophysiologic basis of low back pain. In *The Lumbar Spine*. Wiesel SW, Weinstein JN, Herkowitz H(Ed.). Philadelphia, WB Saunders, pp74-80, 1996

4) 熊沢孝朗: 痛みのメカニズム. 新医科学大系7. 星猛(編). 東京, 中山書店, pp153-167, 1995
(1冊の本全部が参考の場合)

5) 伊藤文雄: 筋感覚. 名古屋, 名古屋大学出版会, 1994

【その他】

○掲載された論文等の著作権は理学療法の医学的基礎研究会に属する。

○採用された場合、電子メディア(Dos-VまたはMacintoshフォーマット)での提出や割り付けなどの案内を送付する。

○採用された原稿の印刷構成は投稿者の責任において初稿のみとする。

○掲載料はカラーページ(ページあたり2万円程度の実費を徴収する)を除き、すべて本研究会の負担とする。

○別刷りは30部まで無料とし、それ以上は実費とする。

*不明な点は下記までお問い合わせください。

〒852-8520 長崎市坂本1-7-1
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
理学・作業療法学講座内
理学療法の医学的基礎研究会
学術誌編集委員会

中野 治郎

TEL/FAX : 095-819-7967

E-mail : nakano-j@nagasaki-u.ac.jp